TOKYO MAIL NEWS
JTSU-E 輸送サービス労組 東京地本 WEBSITE SNS
No.185 / 2024.12.9

12月5日開催 東地申第13号 団体交渉を行う！【ダイジェスト】
「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」に関する申し入れ（その2）

1. 2023年5月25日に提案を行った「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」で示した東京運輸区（仮称）の設置は行わず、東京統括センターの一担務とした理由を明らかにすること。

（回答）東京統括センター総体とした業務の融合と連携が図られ、さらに社員の活躍フィールドが拡大することで挑戦意欲に応えることができると判断したためである。

組　合	会　社
◆ 施策の考え方については、これまで会社から示されている考え方で変わりないか。	➢ 乗務員基地再編と統括センター化が同時に行われる考え方はこれまで示している通りであり、変わるものではない。
◆ 規模感は250名程度で変わりないか。	➢ 変わらない。
◆ 新しい職場の名称を示すこと。	➢ 「東京乗務ユニット」の名称で発足予定である。
◆ 掲示では周知されているが、社員説明はされていない。首都圏本部はどのように指導しているのか。	➢ 社員からの質問には丁寧に返すこと。管理者は説明できるようにすること。社員からの声に対して、首都圏本部として指導していく。

2. 東京運輸区（一部修正）における相互運用の考え方及び、東京統括センターでの「融合と連携」について具体的な業務内容について明らかにすること。

（回答）社員の運用については、業務上の必要や社員の能力・適性等、総合的に判断して行うこととなる。
なお、これまでの硬直的な仕事の垣根を超えた柔軟な働き方を実現するとともに、系統や事業分野を超えた業務に取り組み、社員の活躍フィールドを広げていく考えである。

組　合	会　社
◆ 相互運用の考え方を示すこと。	➢ （運転士から車掌への）相互運用は継続していく考えである。
◆ 規模感は、どのように考えているのか。	➢ まだ具体的にはないが、将来的には行いたい考えである。
◆ 発足日でいきなりスタートにならないと考えるが、どうなるか。	➢ 大きな変化点だと認識している。区所発足にも注力していく。 駅との兼務は考えている。時期などは、引き続き調整していく。
◆ 教育スケジュールの考え方を示すこと。	➢ 新人の車掌と同じ教育スケジュールとはならない。その時々で考えていく。社員の経験を踏まえて必要な教育を行っていく。
◆ 要員の穴埋めでないことを確認する。	➢ 相互運用は、要員の穴埋めが目的ではない。
◆ 人選はどのように決めているのか。	➢ 基本的には現場長である。 首都圏本部にも相談いただき、判断していくこともある。
◆ 乗務ユニットに所属する社員が東京駅に兼務の際の具体的業務を示すこと。	➢ 駅の作業ダイヤに入ってもらう。行路の中に駅業務も組み込まれていく。ユニット活動や駅のイベントに入ること等を考えている。
◆ 駅の作業ダイヤに入る社員を増やしていくのか。	➢ 将来的に可能性はあるが、現時点では現行の形で考えている。
◆ 想定される業務を示すこと。	➢ 券売機案内や駅巡回等が想定される。各箇所で検討していく。

TOKYO MAIL NEWS
JTSU-E 輸送サービス労組 東京地本 WEBSITE SNS
No.186 / 2024.12.9

12月5日開催 東地申第13号 団体交渉を行う！【ダイジェスト】
「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」に関する申し入れ(その2)

3.東京統括センター内はもとより、他の統括センターの乗務員区所との兼務は行わないこと。

(回答)現時点で、現箇所での乗務範囲で乗務を行うことを基本と考えている。また、社員の運用については、業務上の必要や社員の能力・適性等、総合的に判断して行うこととなる。

組　合	会　社
◆ 「総合的に判断」と回答があるが、どういうことか。	➢ 将来的全くゼロではないためである。現時点では、現実的ではないので考えていない。
◆ 統括センター内の異動は、担務変更しかないのか。	➢ その通りである。ただし、融合を行うのであれば、担務変更とはならない。
やみくもに「担務変更」を行わないことを主張！	

4.上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編に伴う東京統括センターの一担務としての発足日について具体的に示すこと。

(回答)2024年4月に「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について」で示したとおり、2025年3月を予定している。

組　合	会　社
◆ ダイヤ改正、統括センター化、乗務員基地再編を一気に迎えることになる。同時期は避ける配慮をすること。	➢ 多くの施策が絡む時期である。万全な体制をとって大きな変化点を迎えていく。2025年3月の回答とさせていただく。現時点で、それ以上の回答はできない。
◆ スケジュール感もある。いつ提案するのか。成案になり次第示すこと。	➢ 主張は承る。万全な体制で迎えていく。提案は準備が出来次第、示していきたい。

5.2022年10月にタブレット配信された「今後の乗務員基地再編」で、社員の意見を聞き進めていくとあるが、誰を対象にしてどのような意見が出されているのか明らかにすること。

(回答)社員の意見も参考にしながら準備を進めており、企画スペース等の設備についての意見を把握しているところである。

組　合	会　社
◆ 社員の声は届いているのか。	➢ 社員の意見は伺っている。例えば「企画スペースが狭い」「パソコンが少ない」「物干し場にタオルがかかりっぱはしで不衛生」「大浴場は、プライバシーの視点から入りづらい」などを聞いている。
◆ 一般社員とは誰に聞いているのか。ワーキング(WG)を誰が担っているのかわからない。	➢ 一般社員の意見を聞いている。また、管理者を通じても聞いている。
現場社員の総意でなく、一部の社員の意見、さらに会社に都合の良い意見を用いて進められていることが団体交渉を通じて明らかに！	

TOKYO MAIL NEWS
JTSU-E 輸送サービス労組 東京地本 WEBSITE SNS
No. 187 / 2024.12.9

12 月 5 日開催 東地申第 13 号 団体交渉を行う！【ダイジェスト】
「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」に関する申し入れ(その 2)

6. 東京駅日本橋口の旧東京車掌区エリア間内改修後のレイアウトについて具体的に示すこと。

(回答)レイアウトについては調整中であるが、必要な設備の整備は行っていく考えである。

組　合	会　社
◆ 発足まで3ヶ月である。決まっていることを示すこと。	➢ 調整中のため、示せるものはない。イメージは、明るくて開放的な1フロアである。変更となる可能性もあるため、成案となり次第示していく。
◆ 具体的に聞いていく。トイレの個数を示すこと。	➢ 東京車掌区と規模は変わらない。
◆ 最大の収容人数を示すこと。	➢ 60 名程度である。
◆ LGBT 対応の設備は整備されるのか。	➢ 整備する考えである。
◆ 会議室と訓練室はどうなるのか。	➢ 東京車掌区と変わらない。
◆ 寝室はどうなるのか。	➢ 東京車掌区と変わらない。N-CTC を使う可能性はある。
◆ 他区所の乗務員も休憩はできるのか。	➢ 休憩しても問題ないと認識している。
◆ レイアウトが調整中ならば意見を聞き調整すること。成案になり次第示すのは「提案」で良いか。	➢ 職場にレイアウト図を示していく。

7. 東京駅日本橋口の旧東京車掌区エリア間内改修後の東京車掌区ならびに田町運転区の移転スケジュールを具体的に明らかにすること。

(回答)移転については 2025 年３月を予定しており、具体的なスケジュールについては決まり次第周知する考えである。

組　合	会　社
◆ スケジュールは計画に沿って進んでいるのか。	➢ 2025 年３月を予定している。順調に進んでいる。職場には示せるタイミングで周知を行っていく。
◆ 移転当日、田町運転区の居流し行路への泊地はどうなるのか。	➢ 業務に支障がないように対応していく。

8. 庁舎移転に伴う引っ越し作業については、労働時間として取り扱うこと。

(回答)職場間の荷物運搬については会社が実施していくことから、労働時間として取り扱う考えはない。

組　合	会　社
◆ なぜ、労働時間にならないのか。	➢ 労務提供にあたらないためである。
◆ 発足日以前に新庁舎、発足日後に旧庁舎に入れないのか。	➢ その通りである。
◆ 自分で前もって荷物を置きに行くことはできないか。	➢ できない。
◆ 制服は「貸与品」の認識で良いか。	➢ 貸与品である。
◆ 荷物運搬は個人で行うことはできるのか。	➢ 会社の責任で行うことから、ありではない。
◆ 会社の責任で行うこと。「この方法でやってください」と言っているのだから「業務指示」である。	➢ 指示にはあたらない。

主張を受け止めるが、変わるものではない回答！

TOKYO MAIL NEWS
JTSU 輸送サービス労組 東京地本
WEBSITE SNS
No. 188 / 2024.12.9

12月5日開催 東地申第13号 団体交渉を行う！【ダイジェスト】
「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」に関する申し入れ（その2）

9. 標準数について「運転士」「車掌」に分けて示すこと。
また、標準数については安全・サービスレベルを確保するために必要な要員を確保すること。

（回答）現業機関での柔軟な働き方の推進の趣旨を踏まえ、現業機関における業務量については、年間を通した平均的な業務量の基準として、「変形等」「交代」「乗務員」の1日当りの出面数（作業ダイヤ数）を「管理・一般」に分けて示すこととなる。引き続き、必要な要員は確保していく考えである。

組合	会社
◆ 業務量（出面数）でなく、標準数で示すこと。出面数として足りているのか。	➢ 出面数の示し方が相応しい。必要な出面数は確保できている。
◆ 必要な要員を確保していくと言うが、要員が足りていない。	➢ 休日出勤の数が多くなることは良くない。休日出勤がないような体制づくりを考えている。
◆ 東京車掌区で時季変更が出ていることは認識しているか。	➢ 認識している。数が多いことは良くないと認識している。
◆ 行路移管があるか示すこと。	➢ まだ、ダイヤ改正について決まっていないため、示すことはできないが、現時点では行路移管は考えていない。

10. 発足に伴う異動について、東京車掌区ならびに田町運転区の体制を維持し本人希望を遵守すること。
また、下期の自己申告書に基づく面談とは別に本施策実施に伴う面談を実施すること。

（回答）異動については、就業規則に則り取り扱うこととなる。また、自己申告書の面談等を通じ、社員の状況等の把握に努めており、別途面談を実施する考えはない。

組合	会社
◆ まだ社員周知が行われていない。下期の自己申告書に基づく面談でも行われていないため、別途面談を求める。	➢ 自己申告書の面談の中で必要なことは聞いていると認識している。別途面談を行う考えはない。職場周知されていないことは把握した。指導していく。首都圏本部としても引き続き、情報は伝えていく。

運用

1. 乗務線区は運転士・車掌ともに現行通りを基本とし、車掌については横須賀線乗務の技量維持・異常時対応能力向上の観点から、湘南新宿ラインの横須賀線行路を担当とすること。

（回答）列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成していく考えである。なお、引き続き必要な教育・訓練は実施していく考えである。

組合	会社
◆ 乗務線区は現行通りとすること。輸送の安定性の確保のための考え方を示すこと。	➢ 現行の乗務を考えている。大きく変わるものではない。東海道スジの湘南新宿ラインで技量維持を図っていただきたい。異常時の取扱いは訓練等で教育・周知していく。
◆ 新宿運輸区の持ちと交換することはできないのか。	➢ 新宿運輸区の持ちが少ないため、交換は難しい。

TOKYO MAIL NEWS
輸送サービス労組 東京地本 WEBSITE SNS
No. 189 / 2024.12.9

12 月 5 日開催 東地申第 13 号 団体交渉を行う！【ダイジェスト】
「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」に関する申し入れ（その 2）

2. 臨時列車の乗務担当があるのか明らかにすること。

（回答）臨時列車の担当については、運転計画の決定の都度指定していくこととなる。

組　合	会　社
◆ 臨時列車の担当はある認識で良いか。	➢ 南は、東京乗務ユニットの乗務と考えてもらって良い。
◆ ELについては変更があるのか示すこと。	➢ 設定状況により変わってくる。

3.「運転士」「車掌」の新規養成について考え方を明らかにすること。

（回答）引き続き、乗務員の新規養成を行っていく考えである。

4. 東京統括センター乗務ユニットから東京総合車両センター田町センターの入出区における便乗列車の設定については、高輪ゲートウェイ駅での乗務を基本とすること。

（回答）列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成していく考えである。

組　合	会　社
◆ 高輪ゲートウェイを基本とする認識で良いか。	➢ どの列車を便乗列車に設定するかによって変わってくるため、基本とはならない。列車ダイヤにもよる。行路設定上、高輪ゲートウェイか品川となる。全体を見て行っていく。

設備

1. 東京統括センター乗務ユニットにおける、備品、設備について明らかにすること。また以下の設備について整備すること。

① 洗濯機および乾燥機を設置すること。② 複数人で入れる浴槽及びシャワールームを設置すること。
③ 食事スペースを壁で仕切ること。④ 必要な人数分の乗務カバン置き場を設置すること。
⑤ 自然災害や防災の観点から乗務員休憩スペースにテレビを設置すること。⑥ 身だしなみを整えるための洗面台をトイレ内とは別に設置すること。⑦ 通信各社による電波環境を整備すること。
⑧ 寝室は個別空調とすること。⑨ 物干しスペースを設置すること。
⑩ シャワールーム内に鏡を設置すること。また、脱衣スペースにはカーテンを設置すること。

（回答）必要な設備の整備については実施していく考えであるが、洗濯機、乾燥機、食事スペースの壁、複数人で入れる浴槽、寝室の個別空調、物干しスペースを整備する計画はない。

①は、スペースがないため、設置する考えはない。制服は複数枚を貸与している。何かあった際には交換してほしい。
②は、ユニットバスとシャワー、シャワールームを設置していく。
③は、開放的な1フロアであることから、仕切りを設置する考えはない。
④は、全乗務員がおけるスペースは確保している。
⑤は、テレビを設置する方向でいる。
⑥は、ロッカー内に整備する方向で考えている。髪も洗えるようになっている。
⑦は、電波調査を行い、アンテナを設置していく。業務に必要な電波は整備していく考えである。
⑧は、東京駅の一括管理であるため、ご理解いただきたい。
⑨は、スペースがない。また、干しっぱなしで衛生的でないため、設置する考えはない。
⑩は、仕切りは設置していく考えである。

TOKYO MAIL NEWS
輸送サービス労組 東京地本
WEBSITE SNS
No. 190 / 2024.12.9

12 月 5 日開催 東地申第 13 号 団体交渉を行う！【ダイジェスト】
「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」に関する申し入れ（その 2）

2. ロッカーのサイズは現行の東京車掌区上野第二総合事務所で使用しているものとすること。

（回答）ロッカーのサイズについては、設置スペース等を考慮して整備していく考えである。

組　合	会　社
◆ ロッカーのサイズは、現行使用しているもので良いか。	➢ ロッカーのサイズは更衣室のスペースと要員数により、適切なものを配置していく。新しいロッカーを使用していく。

3. 東京駅 9・10 番線における橋上乗務員詰所、トイレについては現行通りしようできるようにすること。また、乗務カバン置き場を現行よりも拡大すること。

（回答）東京駅9・10番線ホーム神田方乗務員詰所およびトイレの使用については、検討しているところである。また、乗務カバンの置き場を拡大する計画はない。

組　合	会　社
◆ トイレは使用できる認識で良いか。	➢ 使用できる方向で調整している。決まり次第お知らせする。
◆ 拡大する計画は「ない」と言うが、なぜか。	➢ 使用状況を鑑みて回答している。現行で対応可能と認識している。
◆ 橋上詰所は残す認識で良いか。	➢ 残していく。なお、東京乗務ユニットの乗務員は基本、東京乗務ユニットに戻ることとなる。

4. 東京駅 9・10 番線神戸方の東京車掌区が管理する待機スペースおよび業務用トイレの設備を維持し、引き続き使用できるようにすること。

（回答）東京駅9・10番線ホーム有楽町方乗務員詰所の待機スペース等の使用については、検討しているところである。

組　合	会　社
◆ 使用できる認識で良いか。	➢ 使用については検討していく。決まり次第お知らせする。トイレは引き続き使用できように検討している。

5. 東京統括センター乗務ユニット発足後の旧田町運転区の休憩スペース・寝室・風呂の設備については存置すること。

（回答）田町運転区の設備の使用については、検討しているところである。

組　合	会　社
◆ リニアの工事で建物はなくなるのか。	➢ 現行の場所を壊す考えはない。継続して使用する方向で考えている。

教育

1. 逗子駅・根府川駅での防災教育は継続して実施すること。

（回答）必要な教育・訓練は実施していく考えである。

組　合	会　社
◆ 首都圏本部の認識を示すこと。	➢ 田町運転区が独自で行っている取り組みで良いものと考えている。現場で調整し、引き続き行っていただきたい。

輸送サービスの提供に相応しい労働環境を職場の声をもとにつくり出そう！